

## ご存じですか 市の鳥 コゲラ

平成4年、市制施行30周年記念事業の1つとして、制定されました。市民から募集した約300人の野鳥モニターと野鳥調査委員会などが行った野鳥の調査、市民アンケートの集計などを参考に、市の鳥選定委員会で協議し、「コゲラ」が選定されました。

市は、雑木林を好むコゲラが、緑地の保全を進めているこだいらのまちづくりの施策に合い、特色が豊かで市の鳥にふさわしいとして「市の鳥」に制定しました。



## 野鳥の本アラクルト

楽しみながら覚える はじめてのバードウォッチング  
松田道生著 富士鷹なすび絵 ほんぶ出版

うちの近くには、スズメやカラスしかいないなんて大まちがい。遠くへ行かなくても、春夏秋冬、季節ごとのバードウォッチングの楽しみがあることを教えてくれる本です。

鳥やバードウォッチングについての疑問への回答、巣箱の作り方から鳥の足型の採り方まで簡潔にわかりやすく紹介されています。

温かい語り口は、小学生から大人まで楽しめ、気負いなくバードウォッチングへの第一歩を踏み出せるでしょう。

〈大沼図書館を除く市内全図書館所蔵〉

### 野鳥記

平野伸明著 福音館

野鳥を中心に活躍する写真家による鮮やかな色彩の写真観察記です。

著者の住む練馬区大泉学園町から1時間以内の場所で撮影された1年間の定点写真と近景での野鳥の生態写真は1,200枚にのぼります。詩情豊かに自然の美しさを伝えてくれます。

「栄養のバランス ひなに与えるえさの種類」、「住めば都？ シジュウカラのさまざまな巣」など独特の切り口でとらえた鳥たちの姿は、町なかや雑木林などで見られる身近な鳥たちの生活にも、わたしたちが知らないことがたくさんあることを気づかせてくれます。

〈市内全図書館所蔵〉

## グリーンロードを散策しながら 野鳥を探しに出かけませんか



玉川上水



小平霊園



保存樹林

# こだいらの野鳥

今年の干支、「酉年」にちなんで、小平市内で観察できる野鳥や、観察のポイントなどを紹介します。緑豊かな玉川上水はもちろん、街角などでも見知らぬ鳥たちに出会えるかもしれません。身近な野鳥を探しに出かけてみませんか。

## 留鳥

1年中いる鳥。スズメ、カラス、ムクドリ、シジュウカラなど。



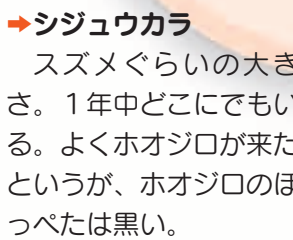
←コゲラ  
スズメぐらいの大きさ。日本で一番小さなキツツキ。鳴き声は「ギー」、繁殖期には「ギーツイツイ」と鳴く。注意して聞いてみると木をコツコツとたたいている音も聞こえる。



↓アオゲラ



↑ハクセキレイ  
細身でしっぽが長い。水に依存しないので公園、芝生、学校の校庭でも見られる。しっぽを上下に振っている。



→シジュウカラ

スズメぐらいの大きさ。1年中どこにでもいる。よくホオジロが来たというが、ホオジロのほつべたは黒い。

## 夏鳥

東南アジア、オーストラリアから春に日本へ渡って来て繁殖し、秋には帰って行く鳥。ほとんどは山で繁殖するが、4月下旬～5月上旬と10月上旬に、平地の小平でも渡り途中の夏鳥が見られます。ツバメ、カッコウ、オオルリ、キビタキ、センダイムシクイなど。

### 夏に小平で子育てをする鳥



↑ヒバリ



↓ツミ

## 冬鳥

シベリアで繁殖し、秋に日本へ冬越しに来て、4月には帰る鳥。冬は山にえさがないので、平地に来る。ガン、カモ、ハクチョウ、ジョウビタキ、ツグミなど。

→ジョウビタキ  
スズメぐらいの大きさ。木がいっぱいあるところより家の庭やテレビのアンテナによく来る。「ヒツヒツ」と大きな高い声で鳴くほか「カタツカタツ」という音も出す。オスは黒い羽に白い斑点があり、おなかはオレンジ茶色で頭は銀白色。



←ツグミ  
芝生で虫を食べている。背は茶色く、白いおなかに黒い斑点がある。



↑シメ

## 漂鳥

1年中日本にいるが、季節によって場所を移動する鳥。5月～10月は山にいて、10月に里に下りてくる。ビンズイ、ウグイス、アオジなど。



↑ルリビタキ



↑ウグイス



↑アカハラ



↑アオジ



↑ミソサザイ

## 玉川上水で見られます



↑シロハラ

※本来、野鳥ではありません。



(財)日本野鳥の会元常務理事、小平市野鳥と緑の会  
鈴木 正男さん

野鳥観察には、冬が一番いい季節  
ウグイスも冬の小平で見られますよ

子どものころから鳥が好きで、山登りやスキーをやっていたので、鳥と親しむ機会も多く、野鳥観察を今でも続けています。

野鳥観察では、鳥の姿を見て楽しむ、声を聞いて楽しむことができます。また、思わぬ発見があります。秋にはヤマガラが、しいの実を集めて、こけに埋め込んでいます。冬のために蓄えているんですね。運がよければ見られます。気をつけて鳥を見ていると、ふだん気づかないことに気がつきます。

ウォーキングや犬の散歩のときに、ちょっと鳥に関心をもつと、季節感も感じられ楽しみ方が増えます。種類は違っても鳥は1年中見られます。

鳥は、左欄で説明するように生態によって、留鳥、夏鳥、冬鳥、漂鳥に分けられ、季節によって小平でも見られる鳥が異なります。

秋に葉が落ちるので、冬は鳥の姿がよく見えます。また、種類の数が多く見られるので、冬が一番いい季節なんです。冬はきれいなさえずりはしないで、オス

もメスも地鳴きといって本来の鳴き方をしています。

どの鳥もオスだけが繁殖期（3月末～6月末）にさえずります。例えば、ウグイスのオスは3月末から「ホーホケキョ」とさえずりますが、これはメスとつがいを作るためのラブソングです。そして、山間部で巣を作り、ヒナがかえると、自分の縄張りに他のウグイスが来ないように「ホーホケキョ」とさえずります。漂鳥のウグイスは、小平には秋ごろから戻ってきていて、冬でもいるんです。ただ、皆さんご存じの「ホーホケキョ」とさえずらないだけなんです。

鳥は1日のうち起きている時間の8割はえさを探しています。えさがないところには鳥は来ません。小平でも、鳥が住まう場所が減ってきていることは事実ですが、玉川上水など小平には貴重な自然がまだ残っています。わたしは、小平四小、六小の総合学習の時間に、野鳥の観察のしかたなどを教えていますが、子どもたちは生き生きとしています。皆さんもぜひ野鳥観察を楽しんでください。

## 野鳥を観察する際のポイント

- できれば双眼鏡があるといいです
- グループ、友達といるときは、おしゃべりをしない（鳥の声がよく聞き取れません）
- 鳥の巣があったら近づかない
- 関心をもって歩く（楽しみが増えます）

### 玉川上水で観察できる野鳥

鳥名	春	夏	秋	冬	鳥名	春	夏	秋	冬
アオゲラ	○	○	○	○	シロハラ	○			○
アオジ	○	○	○	○	スズメ	○	○	○	○
アカハラ	○				センダイムシクイ (注2)	○		●	
イカル (注1)	○	○	○	○	ダイサギ	○	○	○	○
ウグイス	○		○	○	ツグミ	○		○	○
エゾムシクイ (注2)	○		●		ツバメ	○	○	○	
エナガ	○	○	○	○	ツミ	○	○		
オオルリ (注2)	○		●		トビ (注1)	○	○	○	○
オナガ	○	○	○	○	トラツグミ				○
カルガモ	○	○	○	○	ハクセキレイ	○	○	○	○
カワセミ	○	○			ハシブトガラス	○	○	○	○
カワラヒワ	○	○	○	○	ハシボソガラス	○	○	○	○
キジバト	○	○	○	○	ヒヨドリ				○
キセキレイ	○	○	○	○	ヒヨドリ	○	○	○	○
キビタキ (注2)	○		●		ミソサザイ	○			○
ゴイサギ	○	○	○	○	ムクドリ	○	○	○	○
コゲラ	○	○	○	○	メジロ	○	○	○	○
コサギ	○	○	○	○	メボソムシクイ (注2)	○		●	
コジュケイ	○	○	○	○	モズ				○
シジュウカラ	○	○	○	○	ヤマガラ	○	○	○	○
シメ	○		○	○	ルリビタキ				○
ジョウビタキ	○		○	○					

※この表は、小平市野鳥と緑の会・鈴木正男さんが作成したものです。  
※春：3月～5月、夏：6月～8月、秋：9月～11月、冬：12月～2月。  
※○：見たり鳴き声を聞いたりできる時期、●：10月ごろ見られることがあるもの。  
※上表のほか、1～2回確認できた鳥が20種類あります。  
(注1)きわめてまれに見られるもの。(注2)5月のゴールデンウィークごろのみ見られるもの。

※野鳥の写真は、市内在住の方から提供していただきました。